

研究実施のお知らせ

研究課題名：大腿骨近位部骨折術前に酸素療法をしていた症例の術後呼吸器合併症の検討
研究期間：倫理審査委員会承認後～2034年12月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

当院において2014年11月～2034年12月までに、大腿骨近位部骨折で酸素療法中に骨折の手術を施行した患者様

【研究の目的と意義】

大腿骨近位部骨折は48時間以内の手術が推奨されていますが、高齢の患者様では肺炎などを併発していたり、慢性閉塞性肺疾患など呼吸器合併症をお持ちのことがあります。呼吸器合併症は麻酔のリスクとなりますが当院では、患者様ご家族様、多職種の医療者で検討した上で、早期手術施行が最善と判断されれば、酸素療法を施行しながら手術を行っています。

しかし、その後の呼吸器合併症に関して多くの患者様で調査したものではありません。超高齢化社会を迎え、高齢者の大腿骨近位部骨折で酸素療法中の患者様に対して今後も手術適応に悩む症例は増加が予想されます。そこで、大腿骨近位部骨折で酸素療法中に手術を行った患者様の術後呼吸器合併症を調査し、今後の治療方針決定に役立てたいと思います。

【研究の方法】

患者様の診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う研究（後ろ向き研究）です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（術後呼吸器合併症、退院転帰、年齢、性別、身長、体重、生活歴、既往歴、合併症、受傷前の日常生活自立度・認知機能、入院中の検査・バイタルデータ、治療内容、入院日数、退院時日常生活自立度・認知機能等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 安達厚子

麻酔科医長 亀山良亘

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）